

本時のねらい

自分が提示した話題（普段の生活の中で疑問に思ったこと）について挙がった意見を整理・検討し、自分の考えをまとめたものを発表する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・普段の生活の中で疑問に思ったことについて、情報を集め、総合的に情報をとらえる力を養い、意欲的に学習に取り組めることをねらいとした。
- ・聞き手に分かりやすく説明できるようにプレゼンテーション用ソフト（Google スライド）にまとめることで、分かりやすく伝えるにはどうすればよいのかを考えたり、自分の考えを深めたりするという、情報を活用する力、伝えあう力を高めるということをねらいとした。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・学習者用端末（Chromebook）
- ・プレゼンテーション用ソフト（Google スライド）
- ・アンケート集計用ソフト（Google Forms）
- ・大型モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時の学習目標と内容を確認する。 「みんなの意見を参考にし、自分の考えをまとめ直して発表しよう」	・発表する際には、大型モニターに接続した学習者用端末を使用することを確認する。
展開 (30分)	○前時に作成した、普段の生活で疑問に思ったことをまとめたスライドについて、発表に向けた練習を各自で行う。 ○実際に練習を行って気付いた点を修正する。 ・友達や先生の意見を参考にし、背景や字の色、大きさなど、見やすい資料になるように修正をする。 ○修正したものを発表する。 ・自分でスライドショーを操作しながら発表する。 ○発表後、質疑応答の時間を取る。	・自分の端末画面で実際にスライドショーを開始し、操作しながら発表の練習をさせる。またその時に、字の大きさや色、グラフのサイズや挿入などが見やすいもの、わかりやすいものになっているかを自分で確認する。 ・プレゼンテーション用ソフトを共同編集できるように設定を変更し、教員用の端末からもししたら見やすくなるか、どう言葉を変えたいかなど、実際に操作しながら支援できるようにする。 ・学習者用端末を大型モニターにつなげ、児童が作成したスライドを投影する。児童が自分でスライドショーを操作しながら、発表できるようにする。
まとめ (10分)	○発表後、自分の考えをプレゼンテーション用ソフトにまとめる。	・プレゼンテーション用ソフトで児童が考えをまとめたものを、教員が確認する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子

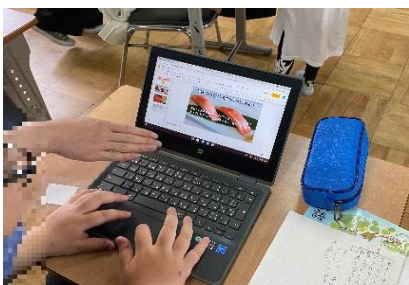


写真 1：作成した資料の最終確認を行っている場面



写真 2：学習者用端末でスライドショーを確認しながら発表の練習をする場面

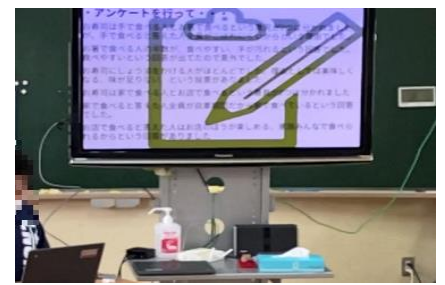


写真 3：大型モニターにスライドショーを投影し、発表を行っている場面

児童生徒の反応や変容

- ・事前の学習でお互いのスライドについてアドバイスがあったことで、改めて自分の伝えたいことが明確化され、わかりやすい発表資料を作成することができた。
- ・自分が提示した話題について、前時ではアンケート集計用ソフトを用いてアンケートを作成し、友だちに答えてもらうことを行った。それによって、友だちの考えを瞬時に知ることや自分の考えと友だちの考えの比較等を容易に行うことができた。本時では、その結果を活用して、発表資料をより分かりやすいものにすることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・教員側からもプレゼンテーション用ソフト（Google スライド）を編集できるように設定していたので、タブレット操作が苦手な児童にも容易に支援ができた。
- ・発表する資料を学習者用端末で作成したことにより、字の大きさや色を何度も修正することができることに加え、アンケート結果や写真を貼り付けることも容易にできるため、聞き手に伝わりやすい資料を作成することができた。